

一般社団法人オランダ島
事業報告
(2017年10月1日～2018年9月30日)

1. 事業の概況

(1) 山田町復興「ありがとう」ホストタウンプロジェクトへの協力活動

内閣府が被災地3県の自治体に対し、これまで支援してくれた海外の国・地域に復興した姿をみせつつ住民との交流を行うホストタウンプランを立ち上げた。同町はこのプランの参加自治体に認定され、役場内でイベント実行チームが結成された。オランダ国を支援ありがたいの対象国にした。そこで実行チームはオランダに関わるイベント企画を考えその実施に社団法人オランダ島の力が必要と考えた。2018年6月18日、役場から担当者数名、その他中央官庁から2名が当社団法人事務所(DSM ジャパン内)を訪れ、プロジェクトの主旨と計画が説明され、正式な協力要請が行われた。我々は快く承諾した。その後、10月16日同実行チームメンバーは再度上京し11月24日開催予定の交流企画「オランダを学ぼう!体験しよう!」の打ち合わせを行った。

今後、2020年東京オリンピックのタイミングに向けて、オランダにちなんだイベントが複数当社団法人の賛同・協力の下、開催される予定である。

(2) Cruyff Court(CC)プロジェクトの活動

2017年9月に、山田町役場は新設置場所を船越地区に決定し、整備した町の新公園内の一角を提示した。

これを受け、同年10月23日、協力支援会社2社と弊社団法人から2名が山田町を訪問し現地視察を行った。また、協力支援会社の要請で、彼らの社内稟議のために同町及び当社団法人の連名で正式な支援要請文を作成送付した。

2018年1月、支援会社より再見積もりが提示された。プロジェクト資金調達や施工方法について依然、調整中である。

(3) 寄付金の募集

当年度当年度の寄附金の応募状況は、1件、応募額は、109,178円にとどまった。

以上